

平成30年度 第1回伊佐市総合教育会議議事録

1 日時

平成31年1月28日（月）午後1時23分開会、午後2時00分閉会

2 場所

伊佐市役所大口庁舎 2階 第1会議室

3 出席者

委員（隈元市長、森教育長、永野教育委員、川原教育委員、長野教育委員、久保田教育委員）

事務局（吉加江企画政策課長、小倉政策調整係長、石塚政策調整係主査）

関係者（田中スポーツ推進課長、万膳教育委員会総務課長、高崎学校教育課長、中村社会教育課長、丸目学校給食センター所長、浅山教育委員会総務課総務係長、平崎国体・高校総体推進係長、岩元高校総体会場地担当教員）

4 議事録

(1) 全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会の準備状況について

・教育委員会 スポーツ推進課

大会概要について（目的、主催、後援、主管）

開催時期及び期間

- ・開会式 2019年8月2日（金）15：00～ 伊佐市文化会館大ホール
- ・競技 2019年8月3日（土）～6日（火）菱刈カヌー競技場
- ・閉会式 2019年8月6日（火）競技終了後 菱刈カヌー競技場大テント

競技種目

- ・男子 K-1、K-2、K-4（500m及び200m）（K：カヤック）
C-1、C-2、C-4（500m及び200m）（C：カナディアン）
- ・女子 K-1、K-2、K-4（500m及び200m）
C-1（500m及び200m）※公開競技として実施

競技日程

- ・8月1日（木）公式練習 検艇 ライフジャケット点検
- ・8月2日（金）公式練習 検艇 ライフジャケット点検 開会式
- ・8月3日（土）男女500m競技 予選・準決勝
- ・8月4日（日）男女500m競技 準決勝、決勝 種目別表彰式
- ・8月5日（月）男女200m競技 予選・準決勝
- ・8月6日（火）男女200m競技 準決勝・決勝 種目別表彰式 閉会式

参加申込等

- ・当道府県予選第1位の者
- ・開催県は、高等学校体育連盟会長の推薦により1クルー出場可
- ・参加料 シングル4,000円、ペア8,000円、フォア40,000円

宿泊

- ・全国高等学校総合体育大会 各県配宿センター開設
委託業者(株) JTB
- ・鹿児島配宿センター、熊本配宿センター、宮崎配宿センター、沖縄配宿センター
- ・宿泊料は調整中

組合せ抽選会

- ・期日 2019年7月5日(金) 15時～
- ・会場 伊佐市菱刈カヌー競技場2階 大会議室

諸会議

- ・監督会議 2019年8月2日(金) 10:00～11:00 菱刈環境改善センターコース及び施設等
- ・川内川に競技場を設置
- ・500m 河川敷のパークゴルフ場の金山コース前
1レーンが9m幅で9レーン、25m毎にブイの表示
- ・200m 一般観覧席前に設置
- ・乗艇 500mスタート地点より200m上流の右岸側
- ・選手村 湯之尾グラウンド選手等のテントは、それぞれのチームの持ち込み
- ・トイレ カヌー艇庫のトイレと仮設のトイレを選手村、カヌー艇の発着場、一般観覧スペースの近くに設置
- ・駐車場 湯之尾滝児童公園横の広場、カヌー艇庫の道路向かいの駐車場、湯之尾グラウンド横の駐車場、湯之尾小学校校庭、川内川旧河川の空き地

高校生活動

インターハイを開催する地元高校生が、大会の成功に向けて、企画・準備・運営に自らの創意工夫を持って多様な活動に取り組むもの。

役員組織

競技本部、総務関係、審判関係にカヌー競技に携わっている方や医師、看護師、カヌー競技の審判資格を所持している方を配置。競技補助員は、高校のカヌー部員等を配置予定。

課題

- ・ 競技施設（水上）及び運営施設（陸上）の契約
- ・ 選手村をカヌー発着場から湯之尾グラウンドに変更することによる駐車場の確保
- ・ 熱中症対策
- ・ 1ヶ月前に開催する国体リハーサル大会、高校総体の事務が重なること
- ・ 競技役員の確保
- ・ 荒天時の対応（台風、大雨）
- ・ 宿舎周辺の情報発信
- ・ 市外の宿舎 早朝の食事対応

伊佐市実行委員会の取り組み状況

- ・ 開催 300 日前
- ・ カウントダウンリレー

▶議長（隈元市長）

ただいま、スポーツ推進課より説明がありましたが、ご意見、ご質問等はないでしょうか。

▶委員

高校総体にくる生徒の数はどれくらいを想定しているか。

→参加の見込み数ですが、選手や監督等で約700名でございます。競技役員、補助員等の延べ人数が698名程度、観客が延べ人数として6,000人を見込んでいます。これは、鹿児島県の方で作成して頂いた資料にに掲載されています。

▶委員

資料の2ページにあります。参加料についてですが、シングル、ペア、フォアとありますが、フォアは参加料が高額であるが。

→全国高体連で個人競技、団体競技の参加料が設定されており、フォアは団体競技となっています。

▶委員

宿泊についてですが、(株) JTBと配宿センターの関係はどうなっていますか。同じ会社ですか。

→(株) JTBのそれぞれの県（鹿児島、熊本、宮崎、沖縄）の支店に別で事務所を立てまして、そこでインターネットを使った宿泊の申

込みを各県の支店で行います。鹿児島で開催される競技は、鹿児島の配宿センターで対応をされます。

▶委員

想定される課題等について説明されたが、課題解決は進んでいるのでしょうか。

→インターハイは4月から具体的に動き出すことになります。現状では、課題解決についての整理をしています。4月以降に解決していくことになります。ほとんどの課題には対応できますが、台風、大雨の対策のマニュアルを整備しなければならない。高校総体の準備を進めながらも、マニュアルの作成も進める必要があります。

▶委員

選手村を湯之尾グラウンドに変更することによる駐車場の確保策とありますが、現段階での選手村の場所を変更するということでしょうか。→現段階で、湯之尾グラウンドを内定しています。経費削減の狙いもありまして、テントの準備をこちらでするのではなく、テントを持ち込んでもらうことを想定しています。岐阜での大会で、テントを持ち込んでもらうことにより、経費が削減されたと聞いております。当初は湯之尾グラウンドを駐車場と考えておりましたので、その分の駐車場を確保する必要があります。駐車場については、候補地を考えてあります。

▶委員

市外の宿舎における早い時間帯の朝食の対応は、どこがすることになりますか。

→JTBと伊佐市と協議しながら進めることになります。400～500名が人吉市に宿泊することになると思いますが、人吉市からカヌー競技場まで40分～50分掛かります。選手は会場に、7時には到着したいと思しますので、そうすると、朝食を5時45分に対応しなければなりません。通常は、6時30分からの食事提供と伺っています。JTBの1回目のアンケートによりますと、6時の食事提供は可能との回答があったようですので、JTBを通じて5時45分の朝食対応の要望を出しているところです。

▶委員

観覧スペースはフラットな状態ですか。仮設のスタンドを設置される

のですか。

→高校総体は、予算が厳しいですので、ベンチを設置することを想定しています。

▶委員

観客を6,000人想定されていますが、どのように観覧してもらうのでしょうか。

→延べ人数で6,000人と想定しています。対岸（左岸側）を観覧席と考えていたのですが、そこは自由に観てもらおう場所として考えています。スペース的には、右岸側で十分対応可能と考えています。

▶委員

今までの高校総体会場を視察されたと思いますが、今までも観客は6,000人と想定されていたのですか。視察されて、伊佐市のカヌー会場に対応可能と思われませんか。

→岩国（山口県）の開催会場は、湖のそばで平地がありませんが会場が多く感じました。海津（岐阜県）では、長良川のレガッタコースで会場が広い所で開催され、人が少ないような感じを受けました。1日に、選手を含めて1,000人程度が会場に来ると思いますので、湯之尾会場は、丁度よい広さと思います。

▶議長（隈元市長）

他にご意見やご質問はないでしょうか。

▶委員

なし。

▶議長（隈元市長）

それでは、全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会の準備状況については質問を終わります。

会次第の協議（2）のその他については、事務局からは特に議題はないと聞いていますが、委員の皆様方からご意見等はないでしょうか。

▶委員

なし。

閉会